

**製品名: RIOK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17202**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	RIOK1
別名	RIOK1; Serine/threonine-protein kinase RIO1; RIO kinase 1
遺伝子 ID	83732.0
SwissProt ID	Q9BRS2
免疫原	ヒト RIOK1 の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

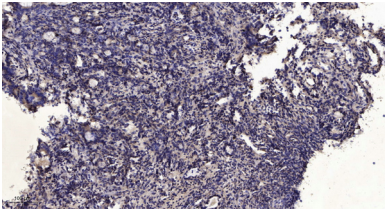
この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが含まれています。この遺伝子の機能は未解明です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月], 触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。類似性: タンパク質キ

ナーゼスーパーファミリーに属します。RIO型 Ser/Thr キナーゼファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。

## 研究分野

シグナル伝達; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45分)。